勝北中学校だより　第７号　夏休み登校日

燦たり 勝北中学校

勝北中HP→

令和8年7月31日
文責：神田 智弘

学校教育目標「志を持ち、未来に向かって力強く生きる生徒の育成」

「働」という漢字は日本でできた漢字です。古来日本人は人が動（うご）くということは「働」（はたら）くことだととらえていたのかもしれません。また、「はたらく」は「傍（はた）」の人を「楽（らく）」にするという意味から来ているという説もあります。

人が動くことは働くこと。働くことはまわりの人やそばの人を楽にしてあげること。

生徒の皆さんには家庭で決まった仕事がありますか。いつも世話をしてもらっているのに自分は人のために働くのは嫌だ、そんな人はいませんか？この夏、だれかのために「働」く夏にしてください。～1学期の終業式　校長の話より～



日の出が照らす校舎（7月早朝）

～校長ハテナ？～　生徒の皆さんへよかったら夏休みに次の事を調べて、休み明けに教えてください！

①勝北という名前の由来は？　②勝北に伝わる黒姫伝説の黒姫とはどんな人？
③広戸風ってどんな風？　④その他、勝北の自然、産業、歴史、文化等何でも？

※ハテナ?と興味を持った人。ノート、レポート用紙等どんな形でも良いので、調べたことを校長に教えてください。また*学校だよりで紹介をしたい*と思います。

夏休みが明けても危険なレベルの暑さが続きます。
2学期の徒歩での登下校には日傘をオススメします。

最近は老若男女問わず日傘を使用している人をよく見かけます。夏の日差しを避けるため子ども達が日傘を差して登校する学校も増えています。

7月の朝、登校する生徒達数人に実際に日傘をさしてもらい、その感想をモニタリングしました。

ほとんどの生徒が「うわ、暑さが全然違う」「涼しく感じる」という感想でした。

実際に日傘は、体感温度を3～10℃下げ、熱中症リスクを大幅に減らし、頭髪温度を下げ、発汗量を抑制し、心拍数の上昇を抑える効果が医学的にも確認されています。ぜひ日傘を使ってください。



日傘のススメ

岡山県警から講師を招き、全校で情報モラルの授業を受けました
～一生消すことのできないデジタルタトゥー～



夏休みを前に岡山県警から講師を招き、全校でネットモラルについての講義を受けました。増加の一途をたどるSNSトラブルでは、以前よりも深刻な問題に巻き込まれるケースも多いとのこと。

SNSがなければこの子の人生は違っただろうなと思う生徒を、これまでの経験の中で何人も観てきていますが、改めて現在のSNSで注意しなければならないことの多様さに驚きました。

■個人情報や画像等は一度SNS上にアップすると二度と消すことのできない“デジタルタトゥー”となって世界中に拡散される恐れがある。

■SNSで見ず知らずの人と知り合い犯罪に引き込まれるケースはもう特別なことではない。家族にまで被害が及ぶ例もある。

改めて、SNSの使用には十分過ぎるほどの注意が必要であることを教えていただきました。

※先日フランスでは15歳未満のSNS使用を禁止する法律ができました。昨年のオーストラリア、今年6月のイギリスに続いての法成立です。更にこの動きは今後世界に広がるのではないかと伝えるマスコミもあります。

今後の日本の動きは分かりませんが、それだけSNS等の使用の仕方やネット上でのモラルが世界的にも大きな問題になっていて、子ども達が犯罪に巻き込まれるケースが増えているのでしょう。

81回目の終戦記念日
戦争について平和について「観る」「聴く」「考える」夏

「今を戦前にしない！」

昨年、終戦80年を機に某テレビ局が掲げた言葉です。

今の世界情勢を観ると、まさに「今が戦前ではないか」と思えるほど、国家間の激しい争いが世界中で行われています。

ぜひとも勝北中の皆さんには、世界で何が起こっているのかに関心を向け、知ろうとしてほしいと思います。そして、ニュースの陰では、映像に映らない、多くの幼い子らの死や恐怖に怯える人たちの姿があることに想像力をはたらかせてほしいと思います。

今年、終戦から81年目の夏を迎えます。最近は8月6日、9日、15日が何の日か知らない若者も増えていると聞きます。

この夏、テレビや本等に触れ、戦争について平和について考える時間をつくってみましょう。



太き骨は 先生ならむ
そのそばに 小さき頭の
骨集まれり
正田 篠枝

原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑

【今後の主な予定】※なお、詳細は各学年・学級からの便りや案内をご覧ください。

7月	31日（金）	登校日
8月	1日（土）	夏休み木工教室（公民館）
	6日～15日（土）	学校閉庁
	26日（水）	3年生実力テスト 1・2年生課題テスト
	27日（木）	2学期始業式



夏休み中の教室はさみしそうです